



平成 24 年 11 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 フレンドリー
代表者名 代表取締役社長 中井豊人
(コード 8209 大証第 2 部)
問合せ先 経営管理部長 鮫島篤志
(TEL 072—874—2747)

特別損失の発生および業績予想との差異ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期第 2 四半期におきまして、特別損失の計上をする事になりましたのでお知らせするとともに、平成 24 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の業績予想と実績の差異及び平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせします。

記

1. 特別損失の発生とその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、第 2 四半期会計期間において、当社が保有する固定資産について、資産内容の健全化の観点から減損損失 62 百万円等、合計 67 百万円の特別損失を計上いたしました。

2. 業績予想との差異

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,980	23	37	22	1.50
今回修正予想(B)	4,876	△30	△12	△95	△6.50
増 減 額(B-A)	△103	△53	△49	△117	—
増 減 率 (%)	△2.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	5,199	△24	△20	△21	△1.47

3. 通期業績予想の修正

平成 25 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,770	40	68	20	1.37
今回修正予想(B)	9,770	40	68	△60	△4.10
増減額 (B-A)	0	0	0	△80	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	10,043	△176	△151	△325	△22.28

◎差異及び修正の理由

○第 2 四半期累計期間

第 2 四半期累計期間は、原価率は計画を下回り、経費はコントロールの結果ほぼ計画通りとなりました。しかし、売上高につきましては、2%程度の計画未達となり、その原因は、お客様単価は計画を上回りましたが、お客様数が計画を下回った為であります。その結果、営業利益、経常利益に差異が生じました。

○通期

10 月以降の経営環境につきましても、個人消費の節約志向や消費者の外食を控える傾向は、依然として強く・厳しい事業環境が続くものと考えます。課題であった経費コントロールが可能となり、更なる経費削減施策を推進する事に加え売上向上施策をより効果的に実施する事で、強固な利益体質を目指してまいります。

源пей・土筆んぼう・ボンズを中心とした宴会需要の取り込みを強化し、今期営業利益黒字化に向けて全社挙げて取り組んでまいります。

特別損失については、第 4 四半期に 30 百万円程度の減損処理を予想しており、当期純利益の修正に加味しております。

上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上